

～R6.道德通信「さくら moral education」第1弾～

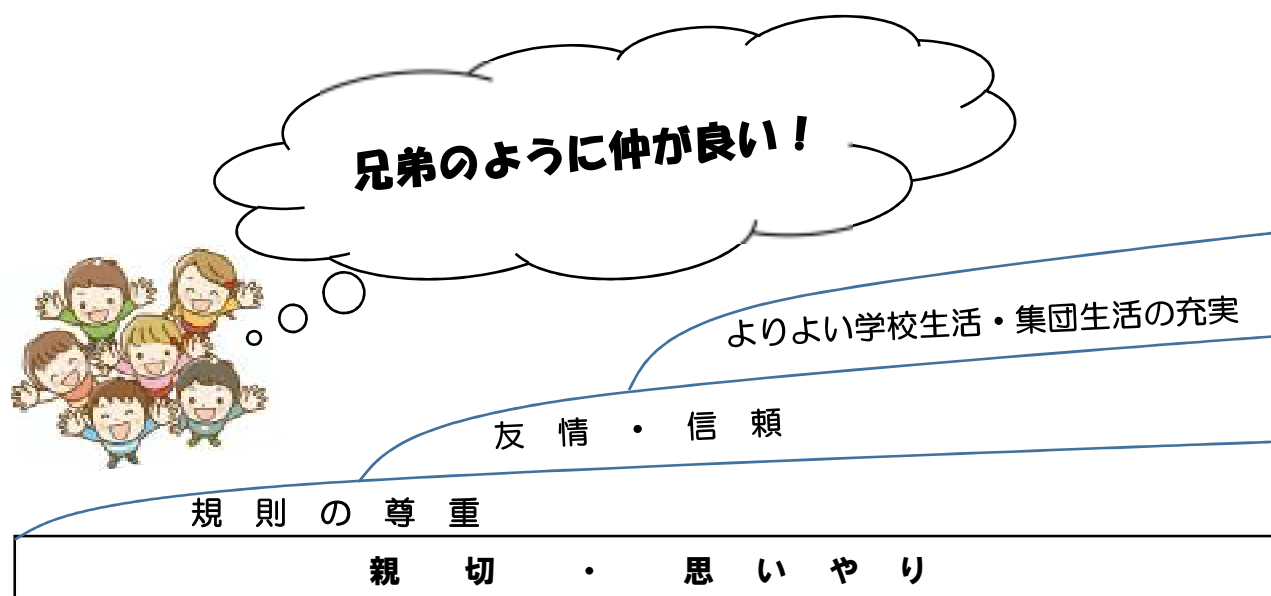
今年度も道德通信「さくら moral education」を発行し、子供たちの心の成長を保護者や地域の皆様とともに見つけ、豊かな人間性を育んでいきたいと思えます。

昨年度は、市内の小学校に対して、本校の道德科における研究発表を行いました。研究主題を「自己を見つめ、関わりを通して学びを深める授業づくり～主体的に学び、よりよく生きる児童の育成を目指して～」とし、重点課題の親切・思いやり（城山地域学校園の重点課題でもある）をベース（学校生活のどの授業でも、どの活動でも常に意識して育てていく）に、各ブロックの課題に取り組みしました。

1・2年…「規則の尊重」 3・4年…「友情・信頼」 5・6年「よりよい学校生活・集団生活の充実」

成果としては、「自己を見つめる振り返り」を行ったことで、「今までの自分」と「これからの自分」を深く見つめられるようになりました。また、工夫した話し合い活動を行ってきたことにより、多様な考え方や多角的な視点に触れ、学びに深まりが見られるようになりました。しかし、各種調査結果から、まだ自己を肯定的に捉えられない児童が見られることが分かり、今後も児童一人一人が自信をもって主体的に学べるようにしていくことが課題としてあげられました。

そこで、今年度も引き続き、学校重点課題を親切・思いやりとし、各ブロックの課題に取り組みながら、「兄弟のように仲が良い城山西小」を誇りとして、笑顔あふれる児童の育成に努めてまいりたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様にも、子供たちに温かいまなざしで（ときには厳しい目で）、励ましや支援をお願いできましたら大変ありがたく存じます。ご協力をよろしくお願いいたします。



第2回授業参観(7/10)の様子

7月10日(水)の第2回授業参観で、全学年道徳科の授業を行いました。道徳科の授業で学んだことは、学校の中だけで育つものではありません。日常生活の様々な場面で道徳的価値を養っていきます。保護者や地域の皆様には、子供たちは学校でどのようなことを学び、社会生活でどう生かしているかとともに見守り、育ててほしいと思っています。

1年生の授業 「はしのうえのおおかみ」(親切・思いやり)

【まとめの話合いから】

「おおかみは、強くなった気分であれしかった。」

「みんなに優しくしたら、おおかみもうれしくなった。」

どっちもうれしいみたいだけれど、どっちの方がいいのかな？

「優しくする方！」「いばっているときは、自分だけがうれしい。優しくするとみんながうれしい。だから優しくする方がいい『うれしい』になると思う。」

2年生の授業 「おれたものさし」(善悪の判断)

【児童の振り返り】これからどうする？

- ・怖くてもダメなことはダメとはっきり言いたいと思った。
- ・うそをつくと周りが困るから、本当のことを言った方がみんなもやもやしないとわかった。

3年生の授業 「いいち、にいっ、いいち、にいっ」(友達と通い合う心)

【児童の振り返り】

- ・一輪車をできるようにになりたいときに、友達が「一輪車を一緒にやろう」と言ってきて一緒に練習できてよかったなと思ったことがある。
- ・友達がいると困っているときやさみしいときとかに助けてくれるから、やっぱり友達はいいなと思った。

4年生の授業 「となりのせき」(公正、公平)

【児童の振り返り】

- ・人によって態度を変えると、周りの人も嫌な気持ちになることがわかった。
- ・皆に優しく声を掛け、明るいクラスを作りたいと思った。
- ・人の気持ちを考え、同じように皆に接したいと思った。

5年生の授業 「共有しちゃえ」(自由と責任)

【児童の振り返り】

- ・「これぐらいなら」の気持ちでSNS等を使うと、相手にとても嫌な思いをさせてしまうことが分かった。
- ・写真を使うときは、すべての人や物などの掲載許可をした方がよい。細かな気遣いが必要だと気付いた。

6年生の授業

【児童の振り返り】「ばかじゃん！」(友情、信頼)

- ・ケンカは気持ちの誤解があるかもしれないから、勇気を出して話してみることが大切だと思った。
- ・心情メーターを見比べて、友達と感じ方が微妙に違うことが分かっておもしろかった。



↑ 心情メーター